

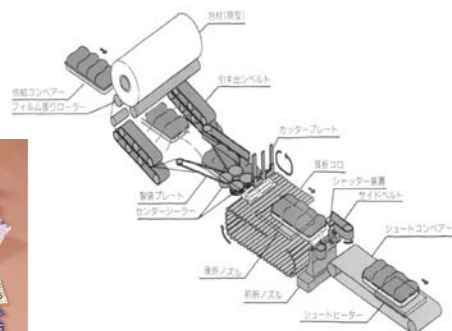
包装機械製造業について

【包装機械とは】

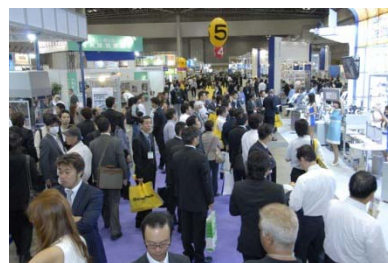
食料品、医薬品、化粧品、電気製品、機械部品等の商品を流通過程においてその価値や状態を保護するために、紙、プラスチック、アルミニウム、ガラス等々の包装材料や容器に高速かつ安全・衛生的に“包む”のが包装機械です。

日本の包装機械の性能、安全・衛生性の高さは世界最高レベルにあり、世界各国のユーザー企業に採用され、流通の合理化と消費生活の安全・衛生確保に大きく貢献しています。

■包装工程図



包装された商品例



包装機械メーカーが一堂に会して新製品・新技術を発表するアジア最大の包装機械展「ジャパンパック」

【包装機械製造業で求められる人材】

日本の得意とする“ものづくり”に関心があり、包装機械の技術高度化やユーザー企業の生産合理化に積極的に取り組む姿勢がある技術職、営業職の人材を求めています。

包装機械製造業は工業高校、高専、大学で習得した金属、機械、電気、コンピューター等の専門知識を十分に生かせる職場環境にあります。

包装機械製造業に就職するにあたっては、特別な資格は必要ありません。技術職、営業職ともに殆どの方は未経験者として入社し、OJT等で実務を積み重ねながら、自己のスキルアップのために必要な技術・知識を習得しています。

【包装機械製造業で働くことの魅力】

通常、包装機械が消費者の目に触れることはありませんが、スーパーマーケットやコンビニエンスストアで消費者が目にする商品のほとんどが包装機械によって包装されています。

包装なくして現在の私たちの生活は考えられず、国民生活にとって不可欠の産業といえます。

日本で製造される包装機械の70%近くが食品業界、医薬・化粧品業界に納入されています。近年、消費者の食の安全・衛生への関心が一層高まっている中、多様化している消費者ニーズに対応した高品質で付加価値の高い包装機械の開発や販売に携わることで、世界中の消費者の「食の安全と衛生」を担える魅力ある産業です。

【包装機械製造業の主なキャリアプラン】

包装機械製造業では、各企業におけるOJT等の新人社員教育をはじめとして、(社)日本包装機械工業会の人材育成事業である「包装学校」(パッケージエンジニア、包装機械設計技術、マイクロコンピューターの3課程)や各種技術セミナー等への参加を通じて、キャリア形成を図っています。